

中国の文化Ⅸ 第7回

魏晋南北朝時代(上)

南北分裂の時代の中で



1600BC	殷 BC1600頃-BC1046		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 BC1046-BC771		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 BC770-BC221		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 BC221-BC207		
0			
100	漢 BC206-AD220		
200			
300			
400			
500			
600	隋 581-619		
700			
800	唐 618-907		
900			
1000	五代十国 907-960		
1100			
1200	元 1271-1368		
1300			
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700			
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000			



右の年表の中で、緑色に塗られて
いる王朝にはある共通点がある。そ
の共通点とは何か？

民族間の抗争と共生の時代へ

魏晋南北朝時代を境として、中国は新たな時代を迎える。漢民族と北方の異民族が、交互に国土を支配するようになるのである。

儒教を中心に高度な文明社会を築いた漢民族と、それに対抗すべく世界中からより優れた文明を携えて中原を狙う異民族たち。

民族間の抗争と共生の中で多様な文化が生まれ、中国はさらにその文明を発展させていく。



南北分裂の時代へ

四百年にわたって中国全土を支配した漢王朝が滅亡すると、中国は再び分裂の時代を迎える。三国志演義が描く三国鼎立の時代である。

魏の後を受けた西晋によって一時統一が実現したものの、王朝内の内紛（八王の乱）をきっかけとして、五胡と呼ばれる周辺の遊牧民族が蜂起し、中華文明の中心である中原は異民族の支配下に入った。北朝である。

中原を逐われた漢民族の支配層は、長江を渡って江南に逃れ、そこに漢代以来の封建的な礼教思想に基づく門閥貴族社会を築いた。南朝である。

今回はこの二つの対照的な世界を象徴する二首の叙事詩を紹介する。

講義内容

第一節 魏晉南北朝時代

——南北分裂の時代

第二節 南朝の歌

——華山畿の世界

第三節 北朝の歌

——木蘭詩の世界

第一節

魏晉南北朝時代

南北分裂の時代



1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		



三国時代、ある周辺国の女王が魏に使節を派遣し、金印や銅鏡を授与されている。この女王とは誰か？

前漢

BC202~BC8

新 BC8~25AD

後漢

25~220

魏

220~265

蜀

221~263

吳

229~280

卑弥呼が魏に使節を派遣 (238(9?))

洛陽

0 km 500 1000 1500

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	呉 229～280



前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	呉 229～280

卑弥呼が魏に使節を派遣（238(9?)）



前漢

BC202～BC8

新 BC8～25AD

後漢

25～220

魏

220～265

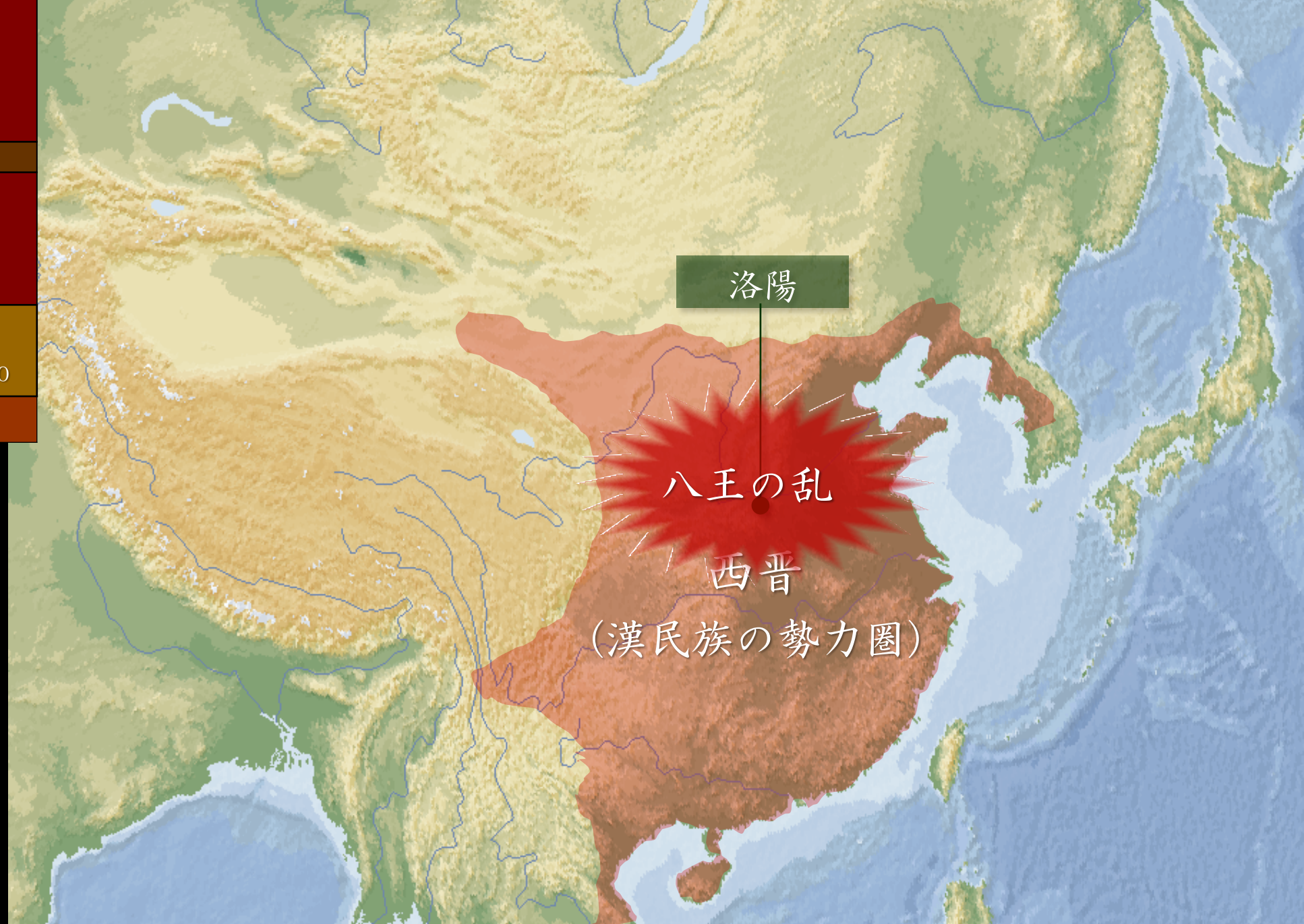
蜀

221～263

呉

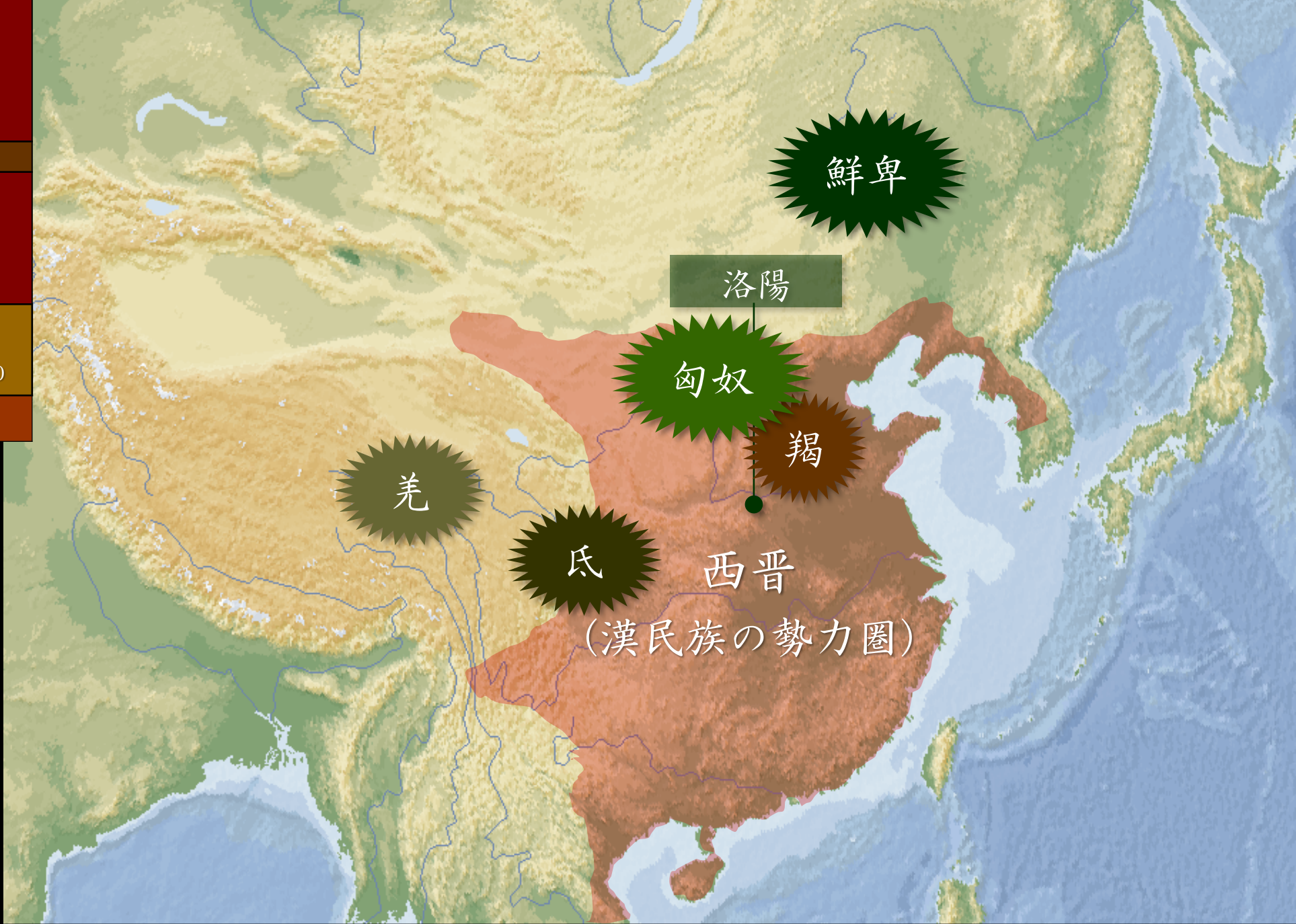
229～280

西晋 265～316



0 km 500 1000 1500

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	呉 229～280
西晋 265～316		



前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
	陳 557～589	
隋 589～618		
唐 618～907		



民族間の抗争と共生の時代へ

魏晋南北朝時代を境として、中国は新たな時代を迎える。漢民族と北方の異民族が、交互に国土を支配するようになるのである。

儒教を中心に高度な文明社会を築いた漢民族と、それに対抗すべく世界中からより優れた文明を携えて中原を狙う異民族たち。

民族間の抗争と共生の中で多様な文化が生まれ、中国はさらにその文明を発展させていく。

1600BC	殷 BC1600頃-BC1046		
1500BC			
1400BC	周 BC1046-BC771		
1300BC			
1200BC	春秋戦国時代 BC770-BC221		
1100BC			
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC	秦 BC221-BC207		
600BC			
500BC	漢 BC206-AD220		
400BC			
300BC	魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280		
200BC			
100BC	晋 265-316		
0			
100	五胡十六国時代		
200			
300	東晋 317-420		
400			
500	北朝 439-589 南朝 420-589		
600			
700	隋 581-619		
800			
900	唐 618-907		
1000			
1100	五代十国 907-960		
1200			
1300	遼 北宋 960-1127		
1400			
1500	金 1115-1234 南宋 1127-1279		
1600			
1700	元 1271-1368		
1800			
1900	明 1368-1644		
2000			
	清 1616-1912		
	中華民国 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		

第二節

南の歌

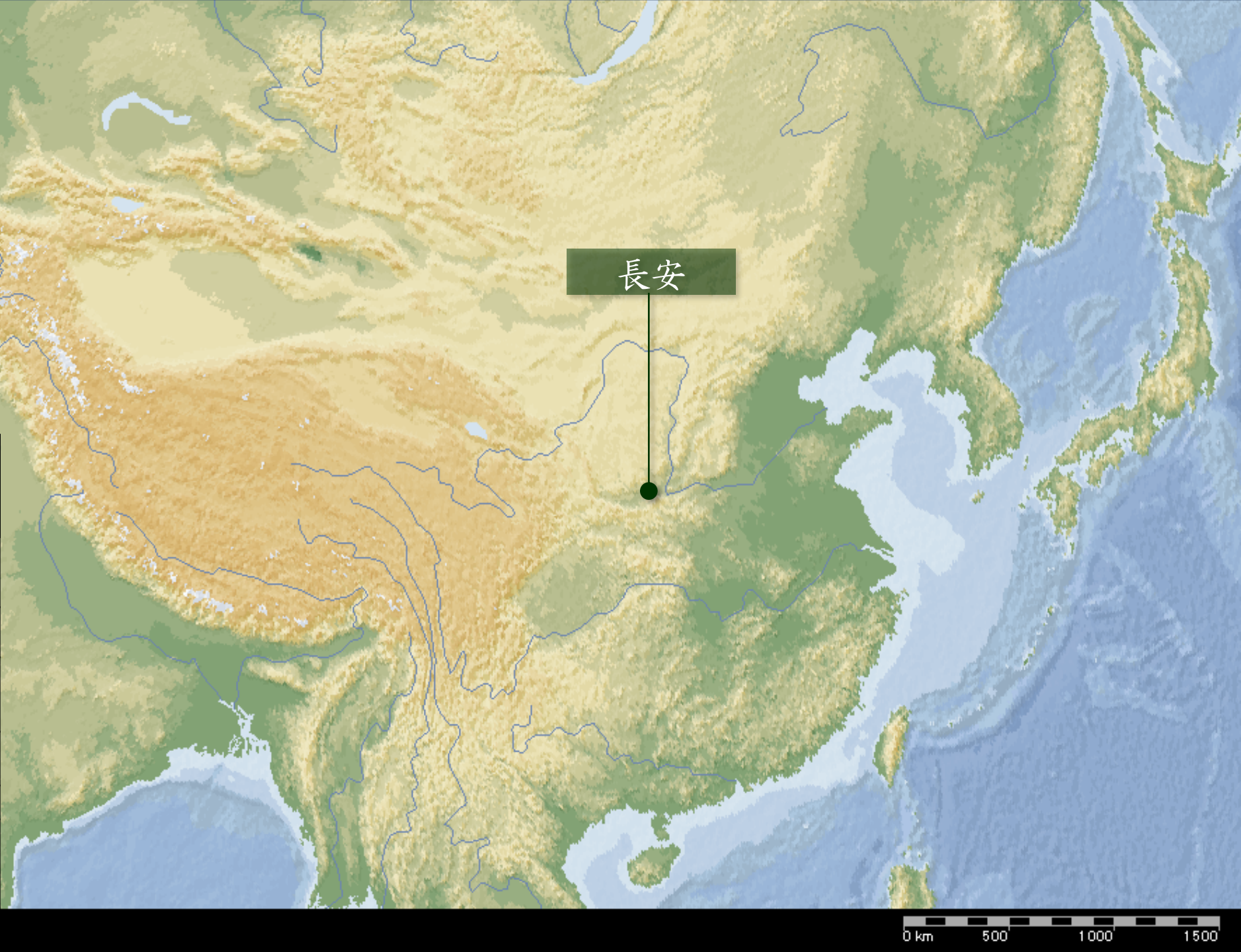
南朝の叙事詩・華山畿

前漢 BC202～BC8		
新 8BC～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～ 263	呉 229～280
西晋 265～316		
五胡十六国 316～439	東晋 318～420	
北魏 439～534	宋 420～479	
	齊 479～502	
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
		陳 557～589
隋 589～618		
唐 618～907		

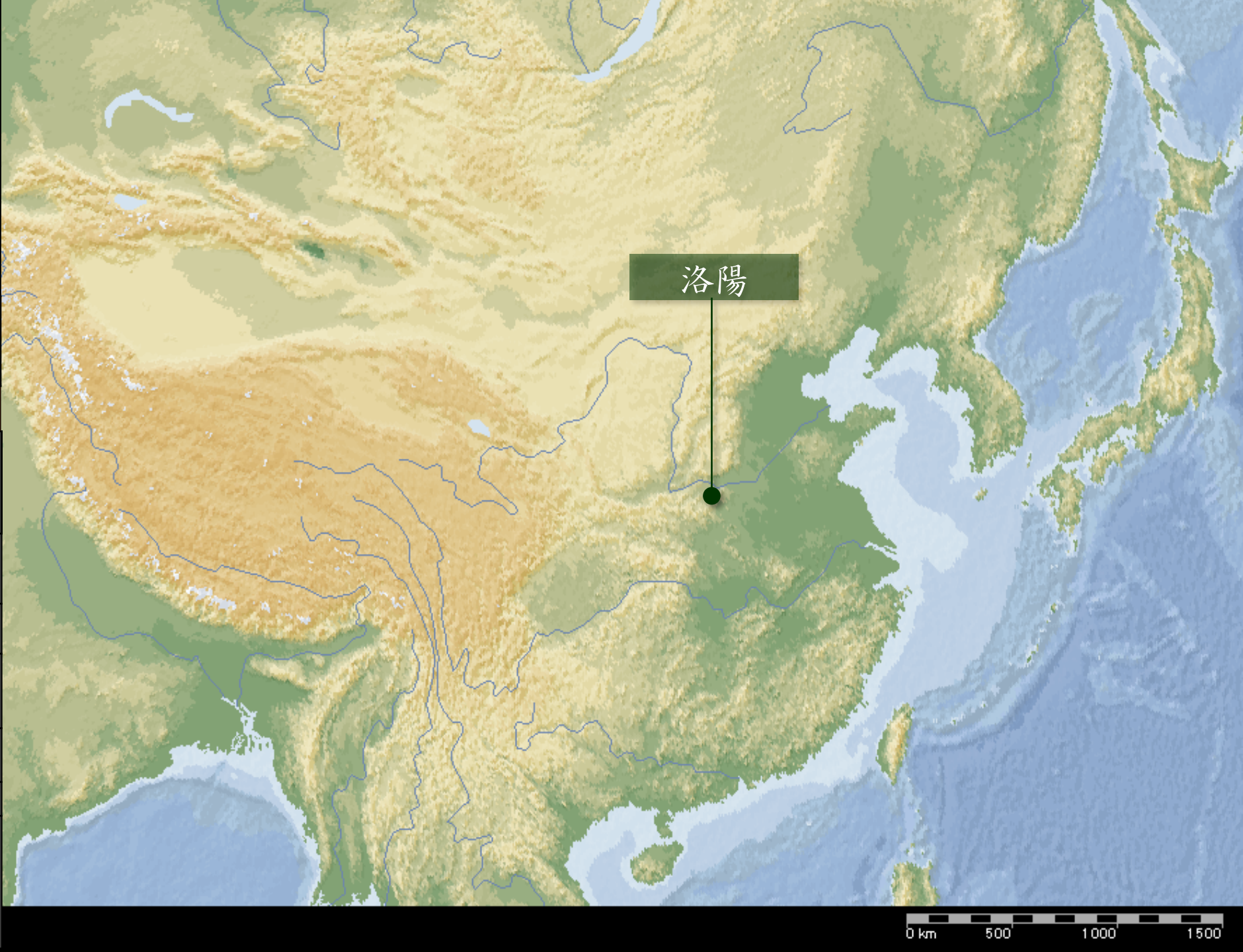


三国時代から隋による再統一まで
 を魏晋南北朝時代、別名六朝時代と
 も呼ぶが、この「六朝」とはどの六
 つの王朝をさすのか？

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～AD25		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
	陳 557～589	
隋 589～618		
唐 618～907		



前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
		陳 557～589
隋 589～618		
唐 618～907		



前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晋 265～316		
五胡十六国 316～439		東晋 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
		梁 502～557
西魏 北周	東魏 北齊	陳 557～589
隋 589～618		
唐 618～907		



資料映像：NHKスペシャル「故宮 第4集」より

礼教思想が生んだ悲劇

儒教を国教化すること、四百年に及ぶ秩序と安定を築いた漢だったが、権威化された儒教は、やがて人々の心を縛る礼教思想へと変質していく。

後漢の末に誕生した長編叙事詩

「焦仲卿の妻の爲に作る」(一名「孔雀東南飛」)に続き、漢民族の亡命先となつた南朝でも、礼教思想の下、純粹な愛情を貫こうとした若者たちの悲劇を描いた文学作品が誕生する。

之失國家也。禮曰：諸侯耕助以共粢盛。夫人蠶繅以爲衣服。犧牲不成，粢盛不潔，衣服不備，不敢以祭。惟主無田，則亦不祭。牲殺，哭，盟，衣服不備，不敢以祭，則不敢以宴，亦不足用乎？出疆必載質，何也？曰：土之仕也，猶農夫之耕也。農夫豈爲出疆舍其耒耜哉？曰：晉國亦仕國也。未嘗聞仕如此其急。仕如此其急也，君子之難仕，何也？曰：丈夫生而願爲之有室，女子生而願爲之有家。父母之心，人皆有之。不待父母之命，媒妁之言，鑽穴隙相窺，踰牆相從，則父母國人皆賤之。古之人未嘗不欲仕也，又惡不由其道，不由其道而

儒教の封建的婚姻観

父母の命、媒妁の言^①を待たず、穴隙（あな）を鑽（うが）ちて相窺（うかが）い、墻（かき）踰（こ）えて相従わば、則ち父母、国人、皆之を賤（いや）しまん。

孟子卷第六滕文公篇下

【注釈】

① 父母の命、媒妁の言：結婚は父母の命と媒酌人の言に従わなければならないという意。孟子のこの言葉は、儒教の封建的な婚姻観を象徴するものとして知られる。

周問仕處三
會同難仕外
一層而會中
多少踰墻要
化是文句也

之失國家也。禮曰：諸侯親助以兵，粢盛夫人鬻，繼以爲衣服犧牲，不成粢盛不潔衣服，不備不敢以祭。惟主無田則亦不祭，牲殺哭盟衣服不備不敢以祭，則不敢以宴亦不足用乎？出疆必載質，何也？曰：士之仕也，猶農夫之耕也。農夫豈爲出疆舍其耒耜哉？曰：晉國亦仕國也，未嘗聞仕如此其急，仕如此其急也，君子之難仕何也？曰：丈夫生而願爲之有室，女子生而願爲之有家，父母之心，人皆有之，不待父母之命，媒妁之言，鑽穴隙相窺，踰墻相從，則父母國人皆賤之。古之人未嘗不欲仕也，又惡不由其道，不由其道而



漢の武帝、儒教を国教化(136BC)

儒教の弊害が社会問題化

焦仲卿とその妻の心中事件が起こる

梁山伯と祝英台の心中事件が起こる

梁山泊と祝英台

石崇王明君解序者公主嫁烏孫令琵琶馬上作樂以慰其道路之思其送昭君亦必爾也云云遂附會以爲昭君爾杜詩千載琵琶作胡語殆亦本於石崇

祝英臺

宣室志云祝英臺上虞祝氏女也僞爲男裝游學與會稽梁山伯者同肄業山伯字處仁祝先歸二年山伯訪之方知其爲女子悵然如有所失告其父母求聘而祝已字馬氏子矣山伯後爲鄞令病死葬鄞城西祝適馬氏舟過墓所風濤不能進問知有山伯墓祝登號慟地忽自裂陷祝氏遂并埋焉晉丞相謝安奏表其墓曰義婦冢

單雄信

舊唐書李密傳單雄信尤能馬上用槍後降王世充爲大

(唐) 張說『宣室志』が伝える梁山泊と祝英台の伝説。



梁山伯と祝英台

祝英台は上虞の祝氏の娘である。男装して（都会の学校に）遊学し、
そこで会稽の梁山伯といっしょに勉強した。

（唐）張説 宣室志 （（清）梁章鉅 浪跡續談卷六所引）



上虞(浙江省上虞市)



祝英台は先に帰郷し、二年後、山伯は英台の家を訪ね、はじめて彼女が女の子だと知った。山伯は父母に頼んで英台に結婚を申し入れたが、英台はすでに馬氏と婚約していた。山伯はのちに鄞県の知事となったが、病に倒れ、鄞城の西に葬られた。

梁山伯と祝英台（唐）張説 宣室志（（清）梁章鉅 浪跡續談卷六所引）



馬氏に嫁いでいく途中、舟が墓場の近くを通ると、風と波が起こり前に進むことができなくなった。たずねてみると、そこには山伯の墓があるという。英台は舟を降りて泣いた。すると突然、大地が割れ、英台はその中に埋まってしまった。

梁山伯と祝英台（唐）張翥 宣室志（（清）梁章鉅 浪跡續談卷六所引）



東晋の丞相・謝安は皇帝に上奏して、この墓を義婦塚と名づけた。



梁山伯と祝英台（唐）張詠 宣室志（（清）梁章鉅 浪跡續談卷六所引）

映画「梁祝」(1994年、音楽はバイオリン協奏曲「梁祝」より)



漢の武帝、儒教を国教化(136BC)

儒教の弊害が社会問題化

焦仲卿とその妻の心中事件が起こる

梁山伯と祝英台の心中事件が起こる

華山畿の事件が起こる

繞指三秋庭綠盡迎霜惟有荷花守紅死西廬一作江小
吏朱班輪柳縷吐芽香玉春兩股金釵已相許不令獨
作空城塵悠悠楚水流如馬恨紫愁紅滿平野野土千
年怨不平至今燒作鴛鴦瓦

華山畿二十五首

古今樂錄曰華山畿者宋少帝時懊惱一
曲亦變曲也少帝時南徐一士子從華山
畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

南朝の悲恋歌 華山畿

(宋)郭茂倩『樂府詩集』卷四十六所収

【解説】

樂府詩集卷四十六所収の古今樂錄
によれば、華山畿は南朝宋の少帝

(在位四二三〜四三四)の時代に起
こった心中事件を歌ったものという。

異民族の侵入により中原を逐われ
た漢民族は江南の地に亡命政権を建
てたが、その社会は礼教思想に基づ
く封建的な門閥貴族社会であつた。
このため南朝では後漢末の「焦仲卿
の妻」に似た悲劇が繰り返された。

繞指三秋庭綠盡迎霜惟有荷花守紅死西廬一作江小
更朱班輪柳縷吐芽香玉春兩股金釵已相許不令獨
作空城塵悠悠楚水流如馬恨紫愁紅滿平野野土千
年怨不平至今燒作鴛鴦瓦

華山畿二十五首

古今樂錄曰華山畿者宋少帝時懊惱一
曲亦變曲也少帝時南徐一士子從華山
畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

古今樂錄に曰く、華山畿は宋の少
帝①の時の懊惱曲の一つであり、変曲
でもある。

華山畿（樂府詩集②卷四十六所収）

【注釈】

①宋の少帝：南朝宋の第二代皇帝・劉義符
（在位四二二～四二四）

②樂府詩集：北宋の郭茂倩（かくもせん）が、
先秦・漢から唐・五代までの樂府（歌謡）作
品を集めた書物。全一〇〇卷。

繞指三秋庭綠盡迎霜惟有荷花守紅死西廬一作江小
更朱班輪柳縷吐芽香玉春兩股金釵已相許不令獨
作空城塵悠悠楚水流如馬恨紫愁紅滿平野野土千
年怨不平至今燒作鴛鴦瓦

華山畿二十五首

古今樂錄曰華山畿者宋少帝時懊惱一
曲亦變曲也少帝時南徐一士子從華山
畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

南朝の悲恋歌 華山畿

少帝の時、南徐①の一人の若者が華
山畿②を通り、雲陽③に向かった。途
中、旅館で十八、九になる娘に出
会った。若者は娘に心惹かれたが、
一緒になれないと知って病にかかっ
てしまった。

華山畿（樂府詩集卷四十六所収）

【注釈】

- ①南徐：現在の江蘇省鎮江市 ②華山畿：
鎮江市姚橋鎮華山村か？ ③雲陽：現在
の江蘇省丹陽市

南徐(現在の江蘇省鎮江市)



樂府四十六卷二
繞指三秋庭綠盡迎霜惟有荷花守紅死西廬一作江小
更朱班輪柳縷吐芽香玉春兩股金釵已相許不令獨
作空城塵悠悠楚水流如馬恨紫愁紅滿平野野土千
年怨不平至今燒作鴛鴦瓦

華山畿二十五首

古今樂錄曰華山畿者宋少帝時懊惱一
曲亦變曲也少帝時南徐一士子從華山
畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕
謂母曰葬時車載從華山度母從其意比
至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須
臾妝點沐浴旣而出歌曰華山畿君旣爲

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

母親がわけを尋ねると、若者は詳
しく事情を話した。母親は華山に行
き、娘を訪ねた。その話に心打たれ
た娘は前掛けを取ると、こういつた。
「これを秘かに筵の下に敷いて寝か
せてあげてください。そうすれば病
はきつとよくなるはずです。」

華山畿（樂府詩集卷四十六所収）

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

娘のいうとおり若者はまもなく元
氣を回復した。ところが、ふと筵を
上げてみると、下に前掛けが敷かれ
ている。それを見た若者は、前掛け
を抱きながら死んでしまった。

畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕
謂母曰葬時車載從華山度母從其意比
至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須
臾妝點沐浴旣而出歌曰華山畿君旣爲
儂死獨活爲誰施歡若見憐時棺木爲儂
開棺應聲開女透入棺家人叩打無如之
何乃合葬呼曰神女冢

華山畿君旣爲儂死獨生爲誰施歡若見憐時棺木爲
儂開

聞歡大養蠶定得幾許絲所得何足言奈何黑瘦爲
夜相思投壺不停箭意歡作喬時

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

臨終の床で、若者は母親にいった。
「葬儀の時、（私の棺を）車に載せて華山を通ってください。」
母親は若者の願いどおりにした。

畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕
謂母曰葬時車載從華山度母從其意比
至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須
臾妝點沐浴旣而出歌曰華山畿君旣爲
儂死獨活爲誰施歡若見憐時棺木爲儂
開棺應聲開女透入棺家人叩打無如之
何乃合葬呼曰神女冢

華山畿君旣爲儂死獨生爲誰施歡若見憐時棺木爲
儂開

聞歡大養蠶定得幾許絲所得何足言奈何黑瘦爲
夜相思投壺不停箭意歡乍喬時

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

娘の家の門まで来ると牛が立ち止まり、いくら叩いても動かない。すると娘は「しばらくお待ちください」といって、沐浴して身づくろいをし、出てきてこう歌った。

畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕謂母曰葬時車載從華山度母從其意比至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須臾妝點沐浴既而出歌曰華山畿君既爲儂死獨活爲誰施歡若見憐時棺木爲儂開棺應聲開女透入棺家人叩打無如之何乃合葬呼曰神女冢

華山畿君既爲儂死獨生爲誰施歡若見憐時棺木爲儂開

聞歡大養蠶定得幾許絲所得何足言奈何黑瘦爲夜相思投壺不停箭意歡作喬時

南朝の悲恋歌―華山畿

「華山畿よ

あの人が死んだのは私のため
どうして私だけが

生きられましよう

二人を哀れに思うなら

棺の蓋よ開いておくれ

畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之
無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲
至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝
令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕
謂母曰葬時車載從華山度母從其意比
至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須
臾妝點沐浴既而出歌曰華山畿君既爲
儂死獨活爲誰施歡若見憐時棺木爲儂
開棺應聲開女透入棺家人叩打無如之
何乃合葬呼曰神女冢

華山畿君既爲儂死獨生爲誰施歡若見憐時棺木爲
儂開

聞歡大養蠶定得幾許絲所得何足言奈何黑瘦爲
夜相思投壺不停箭意歡作喬時

南朝の悲恋歌Ⅱ華山畿

するとその歌声に応えるかのように棺の蓋が開き、娘は棺の中に飛び込んだ。家の人がいくら開けようとしても棺は開かず、やむをえず二人を合葬することにした。

人々はその墓を「神女塚」と呼んだ。

畿往雲陽見客舍有女子年十八九悅之無因遂感心疾母問其故具以啓母母爲至華山尋訪見女具說聞感之因脫蔽膝令母密置其席下卧之當已少日果差忽

舉席見蔽膝而抱持遂吞食而死氣欲絕謂母曰葬時車載從華山度母從其意比至女門牛不肯前打拍不動女曰且待須臾妝點沐浴旣而出歌曰華山畿君旣爲儂死獨活爲誰施歡若見憐時棺木爲儂開棺應聲開女透入棺家人叩打無如之何乃合葬呼曰神女冢

華山畿君旣爲儂死獨生爲誰施歡若見憐時棺木爲儂開

聞歡大養蠶定得幾許絲所得何足言奈何黑瘦爲夜相思投壺不停箭意歡乍喬時

江苏省人民政府文件

苏政发〔2007〕28号

省人民政府关于公布第一批省级非物质文化遗产名录的通知

各市、县人民政府，省各委、办、厅、局，省各直属单位：

省政府批准省文化厅确定的第一批省级非物质文化遗产名录（共计123项），现予公布。

非物质文化遗产是文化遗产的重要组成部分，蕴含着中华民族特有的精神价值、思维方式、想象力和文化意识，体现着中华民族的生命力和创造力。保护和利用好非物质文化遗产，对于继承和发扬民族优秀传统文化、增强民族自信心和凝聚力、促进社会主义精神文明建设，具有十分重要的意义。

江苏历史悠久，拥有丰富的非物质文化遗产。各地区、各部门要认真贯彻“保护为主、抢救第一、合理利用、传承发展”的工作方针，切实做好非物质文化遗产的保护、管理和合理利用工作，为建设文化江苏、构建和谐社会作出积极贡献。

二〇〇七年三月二十四日

第一批江苏省非物质文化遗产名录（共计123项）

一、民间文学（共计7项）

序号	编号	项目名称	申报地区或单位
----	----	------	---------

1	JS I -1	白蛇传传说	镇江市
---	---------	-------	-----

2	JS I -2	<u>梁祝传说</u>	宜兴市
---	---------	-------------	-----

3	JS I -3	董永传说	东台市，镇江市丹徒区、丹阳市，金坛市
---	---------	------	--------------------

4	JS I -4	<u>《华山畿》和<u>华山畿传说</u></u>	镇江市新区
---	---------	---------------------------	-------

5	JS I -5	韩信传说	淮安市淮阴区
---	---------	------	--------

6	JS I -6	吴歌	苏州市，无锡市锡山区、惠山区
---	---------	----	----------------

7	JS I -7	靖江讲经宝卷	靖江市
---	---------	--------	-----

(下略)

第三節

北の歌

北朝の長編叙事詩・木蘭詩



西晋

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
	陳 557～589	
隋 589～618		
唐 618～907		

南方の礼教世界で、男女の心中物
語が人々の涙をさそっていたころ、
北方では遊牧民たちの素朴で自由な
歌声が響いていた。

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊 ●	梁 502～557
	陳 557～589	
隋 589～618		
唐 618～907		

鮮卑語の民謡・勅勒歌

勅勒歌



樂府詩集卷第八十六

勅勒川

勅勒の川は

陰山下

陰山のふもと

天似穹廬

天は穹廬に似て

籠罩四野

四野を籠罩す

天蒼蒼

天は蒼蒼たり

野茫茫

野は茫茫たり

風吹草低

風吹き草低れて

見牛羊

牛羊を見る

樂府廣題曰北齊神武攻周玉壁士卒死者十四五神武恚憤疾發周王下令曰高歡鼠子親犯玉壁劒弩一發元凶自斃神武聞之勉坐以安士衆悉引諸貴使斛律金唱敕勒神武自和之其歌本鮮卑語易爲齊言故其句長短不齊

敕勒川陰山下天似穹廬籠蓋四野天蒼蒼野茫茫風吹草低見牛羊

同前

溫庭筠

敕勒金隤壁陰山無歲華帳外風飄雪營前日照沙羌兒吹玉管胡姬踏錦花却笑江南客梅落不歸家

北方騎馬民族の歌Ⅱ勅勒歌

樂府詩集卷第八十六所収

【解説】

北魏が北齊と北周に分裂した後、北齊の神武帝（高歡 四九六～五四七）と北周の宇文泰（五〇五？～五五六）の間で華北再統一のための戦いが繰り広げられた。熾烈な戦いの中、神武帝が兵士を鼓舞するために勅勒族の武将・斛律金に歌わせたのが鮮卑語の民謡・勅勒歌である。

樂府廣題曰北齊神武攻周玉壁士卒死者十四五神武恚憤疾發周王下令曰高歡鼠子親犯玉壁劒弩一發元凶自斃神武聞之勉坐以安士衆悉引諸貴使斛律金唱敕勒神武自和之其歌本鮮卑語易爲齊言故其句長短不齊

敕勒川陰山下天似穹廬籠蓋四野天蒼蒼野茫茫風吹草低見牛羊

同前

溫庭筠

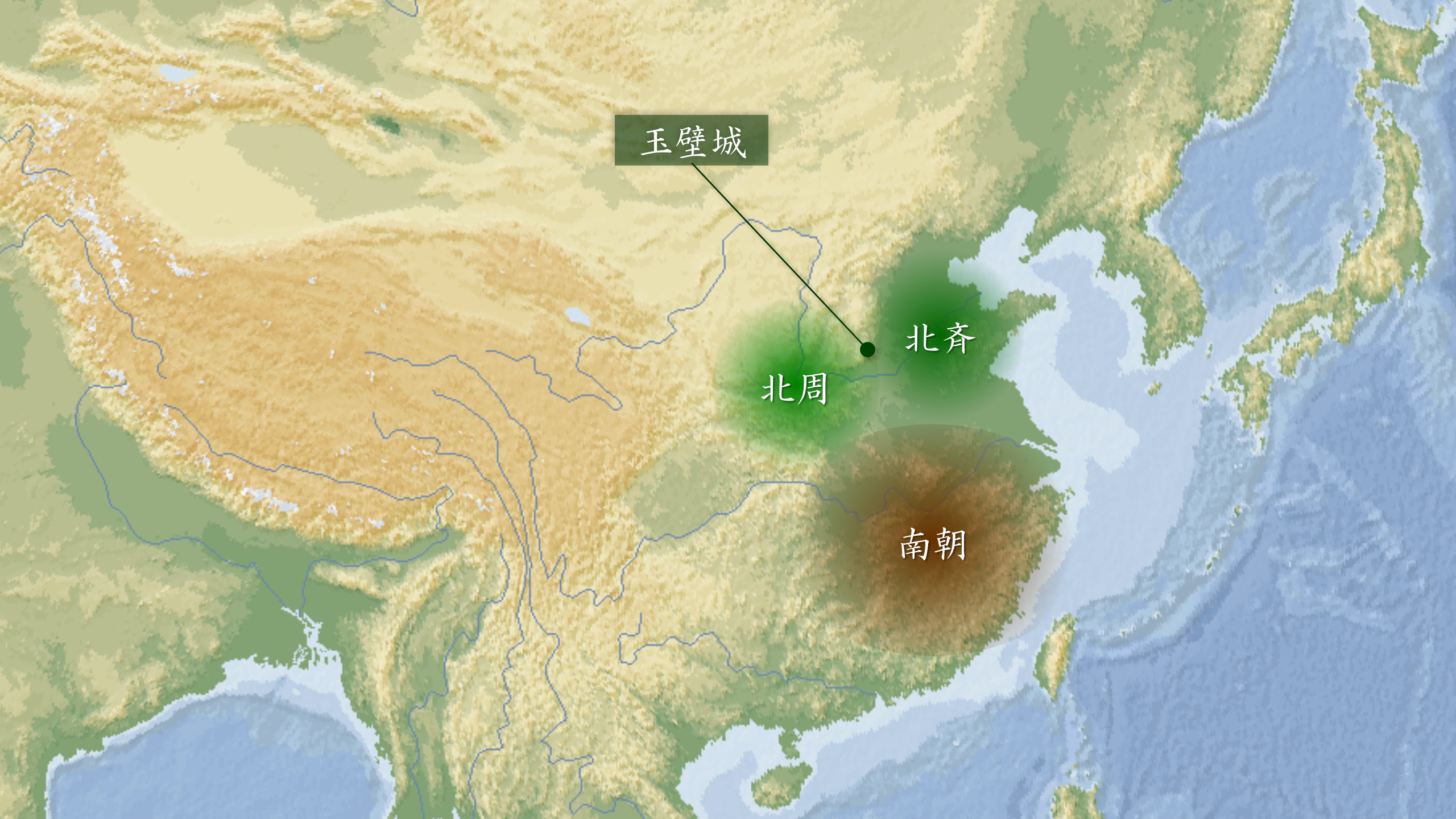
敕勒金隄壁陰山無歲華帳外風飄雪營前日照沙羌兒吹玉管胡姬踏錦花却笑江南客梅落不歸家

北方民族の民族歌謡Ⅱ勅勒歌

樂府広題にいう。北齊の神武帝（高歡）が北周の玉壁を攻撃した時、兵士の死者は十人中四、五人に及んだ。神武帝が憤りのあまり病にかかると、北周の王（宇文泰）は令を下していった。「高歡の輩は、みずから軍を率いてわが玉壁を侵したが、弓矢の攻撃を受けて悪者は戦死したぞ」

勅勒歌

樂府詩集卷第八十六所収



玉壁城

北周

北齐

南朝

樂府廣題曰北齊神武攻周玉壁士卒死者十四五神武恚憤疾發周王下令曰高歡鼠子親犯玉壁劒弩一發元凶自斃神武聞之勉坐以安士衆悉引諸貴使斛律金唱敕勒神武自和之其歌本鮮卑語易爲齊言故其句長短不齊

敕勒川陰山下天似穹廬籠蓋四野天蒼蒼野茫茫風吹草低見牛羊

同前

溫庭筠

敕勒金隤壁陰山無歲華帳外風飄雪營前日照沙羌兒吹玉管胡姬踏錦花却笑江南客梅落不歸家

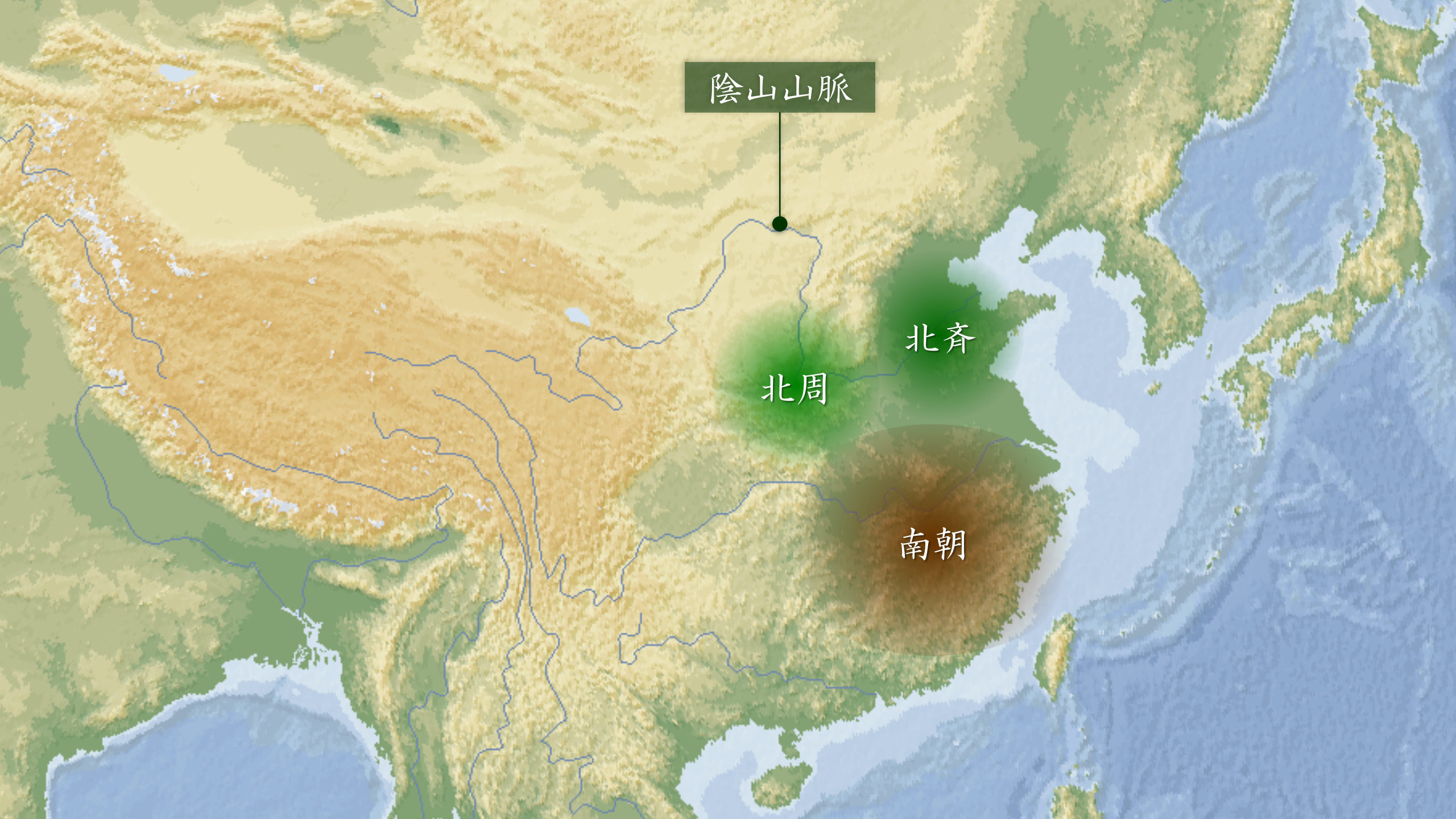
北方民族の民族歌謡Ⅱ勅勒歌

神武帝はそれを聞くと、病床から起き上がり、兵士たちを安心させようと、貴顕の者たちを率い、斛律金に敕勒①の歌を唱わせ、帝自身もその合唱に加わった。

勅勒歌 樂府詩集卷第八十六所収

【解説】

①敕勒は蒙古高原から天山山脈の北に広く分布していた遊牧民族の名。斛律金（こくりつきん）も敕勒族の出身であった。



陰山山脈

北周

北齊

南朝

なぜ文字数がふざろいなのか？

勅勒歌

樂府詩集卷第八十六

勅勒川

勅勒の川は

陰山下

陰山のふもと

天似穹廬

天は穹廬に似て

籠罩四野

四野を籠罩す

天蒼蒼

天は蒼蒼たり

野茫茫

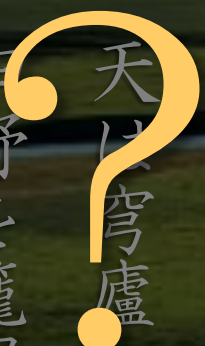
野は茫茫たり

風吹草低

風吹き草低れて

見牛羊

牛羊を見る



樂府廣題曰北齊神武攻周玉壁士卒死者十四五神武恚憤疾發周王下令曰高歡鼠子親犯玉壁劒弩一發元凶自斃神武聞之勉坐以安士衆悉引諸貴使斛律金唱敕勒神武自和之其歌本鮮卑語易爲齊言故其句長短不齊

敕勒川陰山下天似穹廬籠蓋四野天蒼蒼野茫茫風吹草低見牛羊

同前

溫庭筠

敕勒金隤壁陰山無歲華帳外風飄雪營前日照沙羌兒吹玉管胡姬踏錦花却笑江南客梅落不歸家

北方民族の民族歌謡Ⅱ勅勒歌

この歌はもともと鮮卑語①であつたが、それを北齊の言葉(中国語)に翻訳したため、長短不揃いの歌詞となつた。

勅勒歌 樂府詩集卷第八十六所収

【解説】

①鮮卑語：鮮卑族の言語。鮮卑族は古代中国の東北部で遊牧生活を営んでいたモンゴル系の騎馬民族。南北朝時代に華北を統一した北魏をはじめ、隋、唐王朝なども鮮卑族を中心に築かれた。

前漢 BC202～BC8		
新 BC8～25AD		
後漢 25～220		
魏 220～265	蜀 221～263	吳 229～280
西晉 265～316		
五胡十六国 316～439		東晉 318～420
北魏 439～534		宋 420～479
		齊 479～502
西魏 北周	東魏 北齊	梁 502～557
		陳 557～589
隋 589～618		
唐 618～907		

鮮卑語の民謡・木蘭詩

鮮卑語の民謡・勅勒歌





資料映像：ディズニー映画「ムーラン」より

北方民族の女性英雄叙事詩Ⅱ木蘭詩

樂府詩集卷二十五所収

【解説】

南朝の「梁山伯と祝英台」と同じく、北朝にも男装した少女を主人公とした叙事詩がある。鮮卑族が建てた北魏時代の民謡・木蘭詩である。

南朝の礼教世界とは対照的に、女性の社会的地位が高かった北朝では、父に代わって戦場に行った少女の活躍が生き生きと描かれ、後世の俗文学の女性像に大きな影響を与えた。

木蘭從軍
一七九七年
劉凌滄書



劉凌滄「木蘭從軍」図

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧

一作促織何唧唧

木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞

女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺

名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征

東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦

一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃

河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺

孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度

若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年

歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百

千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作賞不欲與木蘭願

馳千里足段成式酉陽雜俎云願借明駝千里足送兒還故鄉爺孃聞女

來出郭相扶將阿姊聞妹來當理紅妝小弟聞姊來

北方民族の女性英雄叙事詩Ⅱ木蘭詩

ギイギイギイ、木蘭が戸口で機を

織る。機の音が消え、ため息だけが

聞こえる。木蘭、いったい誰のこと

を思い、悩んでいるの。

木蘭詩（樂府詩集卷二十五所収）

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察
使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞
女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺
名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征
東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦
一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃
河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺
孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度
若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年
歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百
千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭願
馳千里足段成式酉陽雜俎云送兒還故鄉爺孃聞女
北方民族の女性英雄叙事詩 木蘭詩

「私は誰かのことを思って悩んでい
るのではないの。昨夜見た徴兵の名
簿。可汗①は兵を大動員し、軍令はあ
わせて十二卷。どの巻にも父さんの
名が。」

木蘭詩（樂府詩集卷二十五所収）

【解説】

①可汗：モンゴル系の遊牧民族の称号カガンqaghan
を漢字に音訳したもの。族長または君主の意。

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織何唧唧木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭願賞不願尙書郎願馳千里足段成式酉陽雜俎云送兒還故鄉爺孃聞女來出喜相扶將阿姊問姑北方民族の女性英雄叙事詩木蘭詩

「父さんには大きな男の子はなく、

私には兄さんはいない。鞍と馬を買い、父さんの代わりに戦場に行こう。

東の市で駿馬を買い、西の市で鞍を買い、南の市で轡を買い、北の市で鞭を買おう。」

木蘭詩（樂府詩集卷二十五所収）

【解説】

①可汗：モンゴル系の遊牧民族の称号カガンqaghanを漢字に音訳したもの。族長または君主の意。

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦

一作辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃河水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺

孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年

歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭願

馳千里足段成式酉陽雜俎云送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞妹來當戶理紅妝小第聞姊來

北方民族の女性英雄叙事詩Ⅱ木蘭詩

「朝、父さん母さんに別れを告げ、夕暮れ、黄河のほとりに泊まる。父さん、母さんの声はなく、聞こえるのは黄河の波音ばかり。翌朝、黄河を離れ、夕暮れ、黒山の麓につく。父さん、母さんの声はなく、聞こえるのは燕山の遊牧民の馬の嘶きばかり。」

木蘭詩（樂府詩集卷二十五所収）

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭願馳千里足段成式酉陽雜俎云送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞妹來當戶理紅妝小第聞姊來

北方民族の女性英雄叙事詩 木蘭詩

袍著我舊時裳當窗理雲鬢挂一作鏡帖花黃出門看一作火伴皆驚同行十二年不知木蘭是女郎

之、免北国に銅鑼の音が響き、走冷たい光が鉄の鎧に輝く。いくたびもの戦いに將軍は倒れ、十年後、兵士たちは帰国した。帰国した兵士たちを天子様が明堂で謁見する。多くの叙勲を賜り、下賜された品は幾百千。

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百千彊可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭願馳千里足段成式酉陽雜俎云願借明駝千里足送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞妹來當戶理紅妝小弟聞姊來

磨刀霍霍向猪羊開我東閣門坐我西間牀脫我戰時袍著我舊時裳當窻理雲鬢挂一作對鏡帖花黃出門看北方民族的女性英雄叙事詩木蘭詩

可汗は木蘭に何が欲しいと尋ねたが、木蘭は尙書郎の位を辞退した。

「尙書郎の位などいりません。願わくは一日も早く、私を故郷にお帰しください。」

木蘭詩二首

古辭

古今樂錄曰木蘭不知名浙江西道觀察使兼御史中丞韋元甫續附入

唧唧復唧唧一作促織木蘭當戶織不聞機杼聲唯聞女歎息問女何所思問女何所憶女亦無所思女亦無

樂府二十五卷十

所憶昨夜見軍帖可汗大點兵軍書十二卷卷卷有爺名阿爺無大兒木蘭無長兄願爲市鞍馬從此替爺征東市買駿馬西市買鞍韉南市買轡頭北市買長鞭旦一作朝辭爺孃去暮宿黃河邊不聞爺孃喚女聲但聞黃河流水鳴濺濺旦辭黃河去暮至一作宿黑山頭不聞爺孃喚女聲但聞燕山胡騎鳴啾啾萬里赴戎機關山度若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜一作賜物百千疆可汗問所欲木蘭不用尙書郎一作欲與木蘭賞不願尙書郎願馳千里足段成式酉陽雜俎云願借明駝千里足送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞妹來當戶理紅妝小弟聞姊來

磨刀霍霍向猪羊開我東閣門坐我西間牀脫我戰時袍著我舊時裳當窻理雲鬢挂一作對鏡帖花黃出門看火伴火伴皆一作始驚忙同行十二年不知木蘭是女郎雄兔脚撲朔雌兔眼迷離一作兔傍地走安能辨我北方民族の女性英雄叙事詩 木蘭詩

父さん、母さんは木蘭が帰ると聞き、城門の外までお出迎え。姉さんは妹が帰ると聞き、家の戸口で紅白粉を塗る。弟は姉さんが帰ると聞き、刀を研いで豚や羊を追いかける。

北方民族の女性英雄叙事詩Ⅱ木蘭詩

東の楼門を開け、西の部屋に腰掛け、軍服を脱いで昔の衣装に着替える。窓際で髪を整え、鏡に向かつて黄色い花を飾る。門を出て戦友たち会えば、みな驚いていう。赴戎機、關山度
「昔飛胡氣傳金柝寒光照戰衣將軍百戰死壯士十年歸」
 十二年も一緒に戦ったのに、気がづかななかつたよ。天子坐明堂、策勲十二轉、賞賜千金、
「歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜千金」
 千疆可汗問所欲、木蘭不用尚書郎。
「願借明駝千里足送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞姊來當府詩集卷二五所收」

磨刀霍霍向猪羊、開我東閣門。坐我西間牀、脫我戰時袍。著我舊時裳。當窻理雲鬢。挂一作鏡帖花黃。出門看火伴、火伴皆一作始驚。忙同行十二年、不知木蘭是女郎。雄兔脚撲朔、雌兔眼迷離。雙一作兔傍地走、安能辨我是雄雌。



北方民族の女性英雄叙事詩Ⅱ木蘭詩

【解説】

北方民族の自由で平等な女性の活躍は、やがて漢族の俗文学にも影響を与え、「木蘭従軍」「楊門女将」など数々の女性英雄譚を生み出していた。

映画「花木蘭」（星光國際傳媒集團有限公司 2009年）



東の楼門を開け、西の部屋に腰掛け、軍服を脱いで昔の衣装に着替える。窓際で髪を整え、鏡に向かって黄色い花を飾る。門を出て戦友たち会えば、みな驚いていう。
 「十二年も一緒に戦ったのに、気づかなかつたよ。きみが女の子だったなんて」

若飛朔氣傳金柝寒光照鐵衣將軍百戰死壯士十年歸歸來見天子天子坐明堂策勲十二轉賞賜賜物作百千疆可汗問所欲木蘭不用尚書郎一作欲與木蘭願馳千里足段成式酉陽雜俎云願借明駝千里足送兒還故鄉爺孃聞女來出郭相扶將阿姊聞妹來當戶理紅妝小第聞姊來

磨刀霍霍向猪羊開我東閣門坐我西間牀脫我戰時袍著我舊時裳當窻理雲鬢挂一作對一作鏡帖花黃出門看火伴火伴皆一作始一作驚忙同行十二年不知木蘭是女郎一作危危即美羽危危眼迷難雙一作危危也走安能辨我



對鏡帖花黃
 齊熙耀

齊熙耀「對鏡帖花黃」 図

映画「花木蘭」（星光國際傳媒集團有限公司、2009年）より

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 BC1600頃-BC1046		
周 BC1046-BC771		
春秋戦国時代 BC770-BC221		
秦 BC221-BC207		
漢 BC206-AD220		
魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

民族間の抗争と共生の時代へ

魏晋南北朝時代を境として、中国は新たな時代を迎える。漢民族と周辺
の異民族が交互に国土を支配するよう
になるのである。

儒教を中心に高度な文明社会を築いた漢族と、それに対抗すべく世界からより優れた文明を携えて中原を狙う異民族たち。

民族間の抗争と共生の中で多様な文化が生まれ、中国はさらにその文明を発展させていく。

まとめ

一・四百年にわたって東アジアを支配した漢王朝が滅亡すると、中国は再び分裂の時代を迎えた。

二・三国鼎立の後、西晋が一時天下を統一したが、やがて周辺の諸民族が蜂起すると、西晋の皇族や貴族たちは中原を追われ、長江の南岸にある南京に都を遷した。

三・漢代以来の礼教世界を受け継ぐ南北朝では、男女の自由な恋愛が否定された結果、日本の「心中物」に似た「華山畿」などの悲恋詩が誕生した。

四・遊牧民が支配した北朝では、鮮卑語の民謡「勅勒歌」や、男装して戦場に赴いた少女の活躍を描いた「木兰詩」など、漢民族の礼教思想に拘束されない、自由な詩が誕生した。

参考文献

- 鈴木修次『漢魏詩の研究』（大修館書店）
- 小川環樹「敕勒の歌」（東方學第一八輯）
- 周靜書主編『梁祝文化大觀（全4卷）』（中華書局一九九九年、梁祝故事関連の作品や研究などの資料を集大成したもの）
- 馬俊華、蘇麗湘編『木蘭文献大觀』（河南人民出版社一九九三年、木蘭故事関連の作品や研究などの資料を集大成したもの）